

丁第 5号証

副本

世田谷区長 大場啓二様



# 下北沢における街づくりに関する提言書

[ 下北沢街づくりグランドデザイン ]

平成10年6月1日

下北沢街づくり懇談会

## 提言に至った経緯

私たち「下北沢街づくり懇談会」は、下北沢の街づくりの諸問題に対し、意見の交換を行ない、共通の認識と相互の理解を図るとともに、今後の下北沢の街づくりを検討することを目的として、昭和59年12月に、地元の2町会・4商店会の会員によって発足いたしました。その後、新たに結成された商業団体も参加し、世田谷区の協力も得て、足掛け14年にわたり街づくりに関しての様々な活動を続けてまいりました。

そして、その活動の中から出てきた様々な課題の対処要望として、

- (1) 平成6年4月「街づくりに関する要望書」の表題で、駅周辺の駐輪場及び交番の設置について、世田谷区及び、北沢警察署、小田急電鉄(株)、京王帝都電鉄(株)に要望、
  - (2) 平成7年11月「下北沢地区における小田急線事業の促進に関する要望書」の表題で、世田谷区に当該事業の促進の働きかけを要望、
- してきました。

このような、日々の活動に意欲的に取り組んできた結果、当懇談会の活動は、他の街の協議会とほぼ同様に近い評価を受けるに至っております。

平成9年度秋に当懇談会の会議が第50回を迎えるました。その節目にあたり、14年間にわたる活動の集大成であり、かつ一つの区切りとして、今回『下北沢の街づくりの基盤となるグランドデザイン』を作成いたしました。下北沢に住み・営み・下北沢を愛する者たちが、明日の下北沢を語り合い、街のあるべき姿について考え、過去に行なわれた意見交換・アンケート・その他の調査等も踏まえてまとめあげたものです。

これには、今後、世田谷区が計画する下北沢駅周辺の街づくり計画に、私たち地元の考えを活かされたい、という強い思いが込められております。

世田谷区におかれましては、この『グランドデザイン』の根底にある私たち地元の思いは、充分ご理解いただけるものと思います。

今、下北沢の私たちは、いよいよ間近に迫った小田急線事業の当地区の計画発表と説明の時を、重大な関心と期待と不安感の入り交じった気持ちで見守っております。

そして、その鉄道の事業計画以上に、世田谷区のたてる地区街づくり計画に注目し、計画に参画出来ることを強く待ち望んでおります。

特に、下北沢地区は、数十年間にわたり補助54号線をはじめ計画された都市計画案が、実行される気配もなく放置されており、地権者は厳しい規制に将来の生活設計が立たず、非常に苦しんでおります。

従いまして、私たち下北沢街づくり懇談会は、長年にわたっての活動の集大成としてまとめあげた総合基本構想『グランドデザイン』を、ここに提言させていただく次第であります。

## 《下北沢のグランドデザイン》

ここに示します『下北沢のグランドデザイン』とは、今後下北沢の街づくりを展開していくにあたっての、私たちの描く街の将来像なり、整備のイメージを実現していくための基本的な方向づけを行なったものであります。大きく次の2つの項で構成されております。

■ 街づくり検討の姿勢	2分
……街づくりを行なっていくに当たっての私たちの取り組みの姿勢を示す	
■ 基本方針 ……本グランドデザインの根幹をなす部分	4分
・街づくりの目標【理念】 ……目標とする将来像と街づくり上の理念	
・街づくりの方向性 ……課題解決に向けての方向、方策	
○ <資料>地区住民・商店街の意見	10分
……テーマ別のワークショップを行ない、街づくりのキーワードを抽出	

### ■ 街づくり検討の姿勢

下北沢の街づくりの検討は、小田急線の拡幅立体化の動きを契機として始まりましたが、この間幾度となく話し合いを重ねていく中で、解決すべき課題がお互いに確認され、また私どもの意識の中の大変にいきたい部分も見えてきました。この度、『下北沢のグランドデザイン』としてまとめるに当たり、これらの思いを大切にした街づくりにしていきたいと思い、ここに取り組みの姿勢として整理し、表明する次第であります。 (1/2)

#### ①小田急線問題と切り離した問題点・課題の整理

小田急線の事業化が街が変わる契機となり、その構造と絡めて様々な街づくり上の期待がかかり、また鉄道との一体的な街づくり計画が不可欠なことも事実ですが、一方でその構造型式がいまだ明らかではなく、各者の思惑・期待ばかりが増幅され、具体的に何も決まらなくなっているのも事実です。当懇談会としては、小田急線の構造型式にとらわれずに、街としてどうしたいのか、何が必要なのか、どの様な整備をしなくてはならないかという街としての考え方を明確にし、確認し合うことで、この先主張すべきは主張し、要求すべきものは求めていくという姿勢を貫いていくものです。

#### ②交通問題の重要性を踏まえた街づくり

さまざまな街づくりの課題のなかで、とりわけ交通問題は下北沢にとって重要な課題であります。懇談会発足の契機となった小田急問題もさることながら、地域全体の脆弱な道路網、主要幹線道路からのアクセス性の悪さ、地域構造との整合性が悪い上に、いつまでも整備されない都市計画道路等々数多くの課題を抱えています。さらに、地区の交通システムの選択いかんによって、街の将来構造は大きく違ってきます。こうした状況を踏まえ、将来の街の交通をどうしていくか、慎重に検討していく必要があります。

#### ③生活者（住み手）の視点や根付いている文化を大切にした街づくり

下北沢は今や名だたる商業都市ですが、そこに住み生活している人がまだ多くおり、それが下北沢の商業空間を魅力あるものとしているのも事実です。ともすれば商業ばかりに目が行きがちですが、そこに生活する人々や、そこで脈々と築き上げられてきた文化を大切にしていくことは、下北沢商業の発展のためにも欠かせないものと考えます。

**④若者に偏らない幅の広い層を対象とする商業地づくり**

現在の若者中心となっている商業を、もう少し中高年層へと対象層を拡げ、幅広い人たちの需要に応える間口の広い商業地にしていく必要があると考えます。そして、そこからまた新たな文化が発信でき、街の魅力がより一層深みを増すのではないかと考えます。

**⑤街の良さを認識し、活かした街づくり**

古いもの、新しいもの、わくわくする迷路性、巨大化していない人のサイズに合った親密感のある街等々、そんな下北沢の良さを活かし、また失わないような街づくりをめざします。

**⑥新しい時代の潮流を捉えた街づくり**

いま日本経済は、戦後の開発型高度成長期から安定型低成長期への転換期にあり、また、環境問題は地球人として誰もが取り組むべき課題となっています。こうした状況下で、従来のスクラップ＆ビルト型の開発は見直され、なるべく使えるものは活かしていくという保全型再開発が望ましい形態となりつつあります。私どもにも、単に住み慣れた所への愛着からだけではなく、金やエネルギーを大量に消費する割には街の良さを継承しにくい、大改造型整備は望まないとする意見が多くあります。持続性のある街をつくり、次世代へと引き継いでいくことは、現在の我々に課せられた責務であると考えます。

**⑦幅広い人たち（商業者、住民、来街者等）でつくりあげていく街づくり**

下北沢には、住んでいる人、店を持って商売している人、テナントとして商売している人、買物や遊びに来る人等様々な立場の人が集まり、これらすべての人が関わって街として成り立っています。そこには様々な軋轢も生じてきます。皆で協力して街づくりを行ない、こうしたものを作り越えていかなければならぬと考えます。

**⑧次のステップに引き継ぐものとしての街づくり**

このグランドデザインは、当街づくり懇談会の10数年にわたる活動の集大成です。ここで示した方向は、街づくりに対する私どもの共通した思いです。これを「たたき台」として、より詳細な実現性を高めた街づくり計画としていくために、次の街づくりの段階へと引き継いでいくものです。

## ＜基　本　方　針＞

### ■ 街づくりの目標【理念】

『生活と文化を育み、地域の“心”となる安全で住みよいにぎわいの街』

#### 1. 魅力と活力を生みだすまちづくり

賑わい活気は下北沢の身上、これなくしてはあり得ません。また、常に驚きと発見があり、再び行きたくなる不思議な魅力も失いたくありません。

#### 2. 住みつけられるまちづくり

人の住む暖かさを失うことは街が死ぬこと、このままでは危機感があります。健康で明るく、あらゆる世代が安心して暮らせる、住みよいまちをめざしましょう。

#### 3. 安心・安全のまちづくり

災害に強い街にすること、また暴力・犯罪をなくすことは、街の強い願いです。さまざまな人が安心して住み、楽しめる、安全なまちにしていきましょう。

#### 4. 歩く人が主役になれるまちづくり

あらためて歩行者の視点で、街の構造を見直してみる必要があります。すべての人々が安全快適に歩き、買物を楽しめるような、人と車の関係づくりをしていきましょう。

#### 5. 人に優しいまちづくり

特に高齢者や障害者が普通に生活できる環境・システムづくりは、これから街には不可欠です。公共交通の利便性を高め、街の中の様々な障害を取り除いていくとともに、これらの人人が独りで生活できるような街ぐるみの協力も欠かせません。

#### 6. 地域資源を活かしたまちづくり

地域に根づく伝統や新しく芽生えた文化を大事に育て、街の魅力づけに活用します。古きも新しきも、常に街の文化として発信していく身軽さが、下北沢の魅力です。

#### 7. 協働・調和・共生のまちづくり

来街者と居住者、商業者と住民、商店街同士、大家と店子等、立場の違うものがお互いを尊重し合い、力を合わせて共生していく必要があります。また、地元と行政の関係でも、それぞれの立場で街づくりに対して役割分担をしていくことが求められます。住宅と店舗のほどよい調和、ゴミのないきれいなまちの実現、魅力都市“しもきたざわ”的持続と発展に向け、住民・商店街・テナント及び世田谷区も一緒になって、その思いを一つに結集していきましょう。

< 基 本 方 針 >

■ 街づくりの方向性

(1/3)

1. 商店街の性格・住宅地の性格

- 対象層を拡大した間口の広い商店街の形成
  - 各商店街が役割分担しながら商業機能を拡充
  - 各年齢層に対応した個性的な商店街の形成
- 商業と共に存した都市型住宅地の形成
  - 商業整備に伴う住宅の確保（住宅追い出しではなく増加）
  - 人口呼び戻しの受け皿づくり

2. 通り・街なみ

- ゆとりある買物空間と商店街回遊機能の整備
  - ゆったりと落ち着いて買物ができる商店街通りの整備、それらを結び各商店街をネットワークする回遊路の形成
  - 路地も活用、思わず入ってみたくなり、その先に行ってみたくなる発見の街づくり
  - 気がつくと全ての商店街を巡っている道すじづくり
- 住宅地との協調を図った商店街の環境整備
  - 各商店街の特色を活かした個性的な街なみ形成
  - 買物空間の快適性(アメニティ)の向上、ゴミのないきれいな街なみ
- 緑の良好な街なみの保全
  - 良好な住宅地環境の保全
  - 緑を残し、活かした開発整備

3. 建築物

- 北口駅前における機能再編の検討（再開発等）
  - 小田急線拡幅に伴う商店街全体の機能更新、駅前マーケットの取扱い
- 話題性や集客力のある拠点づくり
  - 商店街の特色付け
  - 買い物客の流動、回遊性の誘発
- 小規模な再開発の連鎖による街づくり
  - 下北沢の良さを失わないような規模、整備内容を積み重ねていく
- 建物新築時における住宅の併設
  - 施設床のみの開発は極力避け、上層階に住宅を確保していく

4. 伝統・文化資源

- 伝統文化を活かした街づくりと地域全体での取り組み
  - 北沢八幡、道了尊、庚申塚、天狗祭り、阿波踊り、駅前マーケット等を活かす
  - 各商店街、町会の連携によるイベントの共同開催

○新しい文化の育成と情報発信

演劇、音楽、パフォーマンス等の若いエネルギーを中心とした文化を育てていく  
対象層の拡大による中高年層の新しい文化を生み出す  
街の新たな魅力として外部にアピールしていく

## 5. 自動車交通・歩行者交通

○人と車のすみわけを図った交通システムの確立

全体的には歩行者系を主体、特に商店街エリアの道路空間は買物客へ開放  
住宅地内への不要交通の排除、商店街サービス車のルート限定化  
上記を前提にした街全体の人と車のすみわけシステムの検討

○駅前交通機能及びアクセス方法の検討

駅前歩行者広場の整備（下北沢の玄関、イベント広場兼用、関連諸施設の整備）  
駅近辺でのタクシー乗り場等の要望、駅前広場・デッキ・駐車・駐輪等の駅前交通システムの検討  
外周道路から駅前へのアクセス道路の必要性の検討（北口、南口）

○外周道路機能の確立

茶沢通りの拡幅整備（都市計画道路整備）、鎌倉通りの歩道整備  
一番街本通りの代替外周道路の検討（本通りは、通過交通の流入を排除し買い物空間機能を高める）

○一般来街車両、二輪車の外周部での受け止め可能性の検討

駐車場・駐輪場の外周部整備の検討（外周道路沿い、または駅から一定の距離外）  
共同駐車場（商店街）の検討

## 6. 小田急関連

○連立事業の促進

下北沢の街づくり計画の具体的検討への影響が大きい、小田急線連続立体事業の早期具体化と完成

○下北沢らしい個性的駅舎の整備

下北沢らしい駅舎デザイン（伝統文化の活用等）  
高齢者等へ配慮した駅施設整備（エレベーター、エスカレーター、スロープ その他のバリアーなデザイン等）

○南北連絡強化

鉄道立体化による踏切解消  
充分な広さの南北自由通路の確保

## 7. 公園・広場

○駅前での拠点広場の整備

来街者の寄りつき所、“しもきた”探索の起点  
イベント広場（各商店街共催による伝統文化の継承の拠点）

○商店街内での小拠点広場の分散確保

まちかど広場、店舗前のテラス、建物内部の小広場

回遊路に沿って連鎖させる連携拠点、高齢者の休憩所

○住宅地内での小公園の整備

児童遊園、ポケットパーク

## 8. 防災

○商店街や住宅地における不燃化の促進

木造建築物等の建替えに際して、その地域指定に準じた不燃構造化

○緊急車アクセスルートの整備

緊急車アクセス不良区域での道路拡幅

○広場・小公園等に防災機能を備える

駅前拠点広場、商店街内のまちかど広場等、住宅地内の小公園等

雨水貯留施設、井戸、用品備蓄庫等

## 9. 来街者・来住者

○治安維持回復のための商店街・住民・警察の協力体制の推進

駅前交番の整備

商店街巡回の推進、若者とのコミュニケーションの活発化

○地域情報の提供

駅ビル等への情報窓口の設置、CATV・インターネット等の活用

○人に優しい街づくりの実践

歩きやすい商店街の形成（道路や建物出入口の段差の解消、商品はみ出しの一掃、置き看板等の置き方の工夫など）

○地域コミュニティの育成

新しい住民との交流促進、組織化

## 10. 人、テナント

○街づくりの協働体制の中での主体性の確立

地元・区・来街者の協働体制の中で、街づくりの主体は地元商店街・住民の責務

これら各組織の連携・協力体制の確立

当懇談会で培ってきた協力関係の、より実質的なものへの発展

○組織の枠を越えた一体的な街づくりや課題への取り組み

街挙げての共同イベント等の開催

「住宅地と商店の共存のルールづくり」や「テナント出店のルール（テナント憲章）づくり」の検討

以上が提言の内容であります。世田谷区が、この『グランドデザイン』を慎重かつ重きをもってお取り扱い下さいますことを、心より要望するものであります。

# 下北沢街づくり懇談会 会員

○北沢地区町会連合会  
○北沢2丁目南町会

○北沢2丁目協和会

○下北沢一番街商店街振興組合

○しもきた商店街振興組合

○下北沢東会

○下北沢南口商店街振興組合

○下北沢西口クラブ連合会



(順不同 平成10年4月24日現在)

平成10年6月1日

下北沢街づくり懇談会

世話人 \_\_\_\_\_

世話人 \_\_\_\_\_

世話人 \_\_\_\_\_

## <資料>地区住民・商店街の意見

(平成9年度に懇談会で行なったテーマ別討議のまとめ)

### 1. 下北沢の伝統、文化性

(1/4)

#### ○残していきたいもの、大切にしたい要素

- ・寺社等（道了尊、北沢八幡、庚申塚）と祭事（八幡祭、天狗祭）
- ・住宅地の緑・静けさ、住宅と商業が混在している街並、緑道、緑地
- ・商業の多様性、物価の安さ、大人のファッショニ性、北口の新しい街なみや洗練された店舗、駅前マーケット、雑多な迷路性
- ・劇場、演劇祭、安い入場料、文化性の情報発信

#### ○改善したい要素

- ・街の人が観れるような演劇を期待
- ・街のイメージを低下させる若者の行動
- ・ライブハウスの営業形態
- ・風俗店の客引き

### 2. 下北沢の将来像

- ・大規模商業の集積よりも、それぞれが個性を發揮し、地域に顔を向けた商店街
- ・商店街ごとの特色を活かしながら、南北一体化し、ショッピングから食事まで、1日中、安心して楽しく過ごせる街
- ・演劇の街
- ・子供からお年寄りまでが、安心して暮らせる住宅地
- ・緑が多く、落ち着きを持ち、商店街と住宅地が共存するきれいな街
- ・駅からの公共交通が便利で、安全に歩ける歩行者主体の街
- ・高齢者が安心して住み、訪れる生活拠点の街

### 3. 下北沢商業の課題

#### ○商店街活動

- ・各商店街のより個性化
- ・何らかの形での統合化を指向
- ・組織づくり、将来像についての話し合いの場づくり
- ・町会も含めた組織間の連携（共同イベントの開催）

#### ○住商共存

- ・良好な住環境は商業にとってもプラス、共存可能な仕組みづくり

#### ○対象層

- ・中高年層の呼び戻し
- ・若者も新たに消費層として捉えなおす  
(将来的な中高年需要層の予備軍・リピーター、店も若者も質的転換を図る)
- ・多様な階層への対応（結果として）

#### ○大型店への対応

- ・共存を前提とした商店街のあり方
- ・来街客（特に中高年層、ファミリー層）を呼び込むような大型店
- ・個店の専門店化、すみ分け
- ・これ以上の大型店については必要ない

#### ○インフラ（基盤）整備

- ・南北一体化、回遊性の確保、ショッピングプロムナード（S.P.）
- ・共同施設（駐車場=特に駅北側、駐輪場）
- ・イベント広場、まちかど広場（街なかの休憩スペース）

#### ○テナント問題

- ・街主導のテナントの選定（人の流れをつくる効果的業種配置と質の選定）
- ・テナントとのコミュニケーション（街づくりへの理解、組織加入）

## ○環境整備

(2/4)

- ・防犯、美観、マナー（駅前交番設置、テナント指導、街一丸となった運動・態度表明、若者との話し合い）

## ○商業活動の新たな展開

- ・新しいターゲットに向けた業種、品揃えの充実
- ・客とのコミュニケーションの活性化、消費者意向の把握
- ・新しい配送システム  
(通信御用聞き、店舗・商店街共同デリバリー、高齢者デリバリー)
- ・専門店ネットワーク
- ・情報ネットワーク化  
(街のビジターセンター、CATV、中高年向け街のパンフレット)

## 4. 下北沢に住みつづけていくために

### (1)現状の問題

- ・ファミリー層が住みにくく域外流出している（高地価、高家賃、生活環境の悪化）

### (2)人口増加施策に対する期待と不安

#### <期待>

- ・街や商業の活性化
- ・子供のいる街の復活
- ・客層客質のレベルアップ、地元購買力の向上
- ・若年層の定住・定着化

#### <不安>

- ・入居層の質による環境悪化とコミュニティの崩壊  
(マナーの悪さ、無関心層の増大、コミュニケーションの欠如)
- ・高密化による居住環境の悪化  
(日照、圧迫感、人口密度、高層化による生活不便)
- ・住商軋轢の増大

### (3)課題と対策

#### <うつわづくり>

## ○多様な住宅の建設

- ・各世代・階層向け、高齢者入居施設（民間、公的住宅）
- ・量的にまとまった住宅供給
- ・土地活用への促進策（税制）

## ○入居促進策

- ・家賃補助
- ・業務系施設の整備（職住近接）

#### <住みやすくするための環境づくり>

## ○住商共存のための工夫

- ・土地利用計画（ゾーニング）
- ・テナントの選定とルールづくり

## ○高齢化に対応した街づくり

- ・バリアフリー、街なかの休憩スペース、高齢者施設
- ・独り暮らしへの街ぐるみ支援、相互互助体制

## ○新住民への対応も念頭においていた商業的取り組み

- ・（3.商業に掲載）

## ○都市基盤の整備

- ・道路、公園、ポケットパーク、駐輪場

## ○地域コミュニティの育成

## 5. 人と車のすみわけをめざし

(3/4)

### (1)歩行者を主体にしたい道筋(図参照)

- ・極めて高い指摘のルート：南口商店街通り、北口駅前通り(富士銀行～横浜銀行)、南口駅前から茶沢通り(昭和信金)への道路
- ・相当数指摘されたルート：東通り、南口～東通り、北口商店街一帯、一番街本通り及び栄通り(駅近く)、鎌倉通り(駅周辺)、西口駅前周辺
- ・少ないが指摘されたルート：南口商店街一帯(上記以外)、北口住宅地内道路、鎌倉通り(上記以外)、一番街本通り(上記以外)
- ・商店街を中心に住宅地に至るまで、地区内のはほぼ全域の道路が指摘され、全体的な歩行者主体の整備の必要性と見て取れる。外周道路では、鎌倉通りと一番街本通りが、車との軋轢が問題となっており、歩行者機能の確保が必要とされる。

### (2)駅前に必要とする機能

#### ○交通施設

- ・駅前広場、バス・タクシー乗り場(街の中心に充分な広さのものを)
- ・駐車場、駐輪場(駅の南北の来街者が使いやすい位置に充分な量を)  
※バス・タクシー乗り場、駐車場、駐輪場の設置位置については、駅前と駅から離れた外周部とに意見が分かれている(「(3)下北沢地区の交通整備」参照)
- ・歩行者広場(待ち合わせやくつろぎの場、高齢者向けにベンチ、防災にも配慮)
- ・歩行者デッキ

#### ○駅舎、その他関連施設等

- ・駅舎(充分なスペース、下北沢らしい個性的なデザイン(ex. 天狗祭り)、エスカレーター、エレベーター、複数の出入口 等)
- ・交番(駅前交通施設との一体整備、他の公共施設と複合化)、公衆便所
- ・イベント広場(北口・南口の各300m<sup>2</sup>程度)、街の案内板、電話ボックス、ポスト、時計塔、噴水、緑花 等

#### ○利便施設

- ・大型店、飲食店、専門店(ファッション系等)、娯楽施設、金融施設 等
- ・行政出張所等(駅構内か隣接地に他と複合化)、郵便局、救急病院、託児所、車椅子の貸し出し 等

#### (3)下北沢地区の交通整備

#### ○地区交通システム

- ・外周道路内側や駅から一定距離(50～200m)内は歩行者主体の“ノーカーゾーン”として買物空間機能を充実(駐車場・駐輪場やバス・タクシー乗り場は、ゾーン外側に分散配置)
- ・建築時の駐車場設置の義務化
- ・バス・タクシー乗り場の案内板の整備

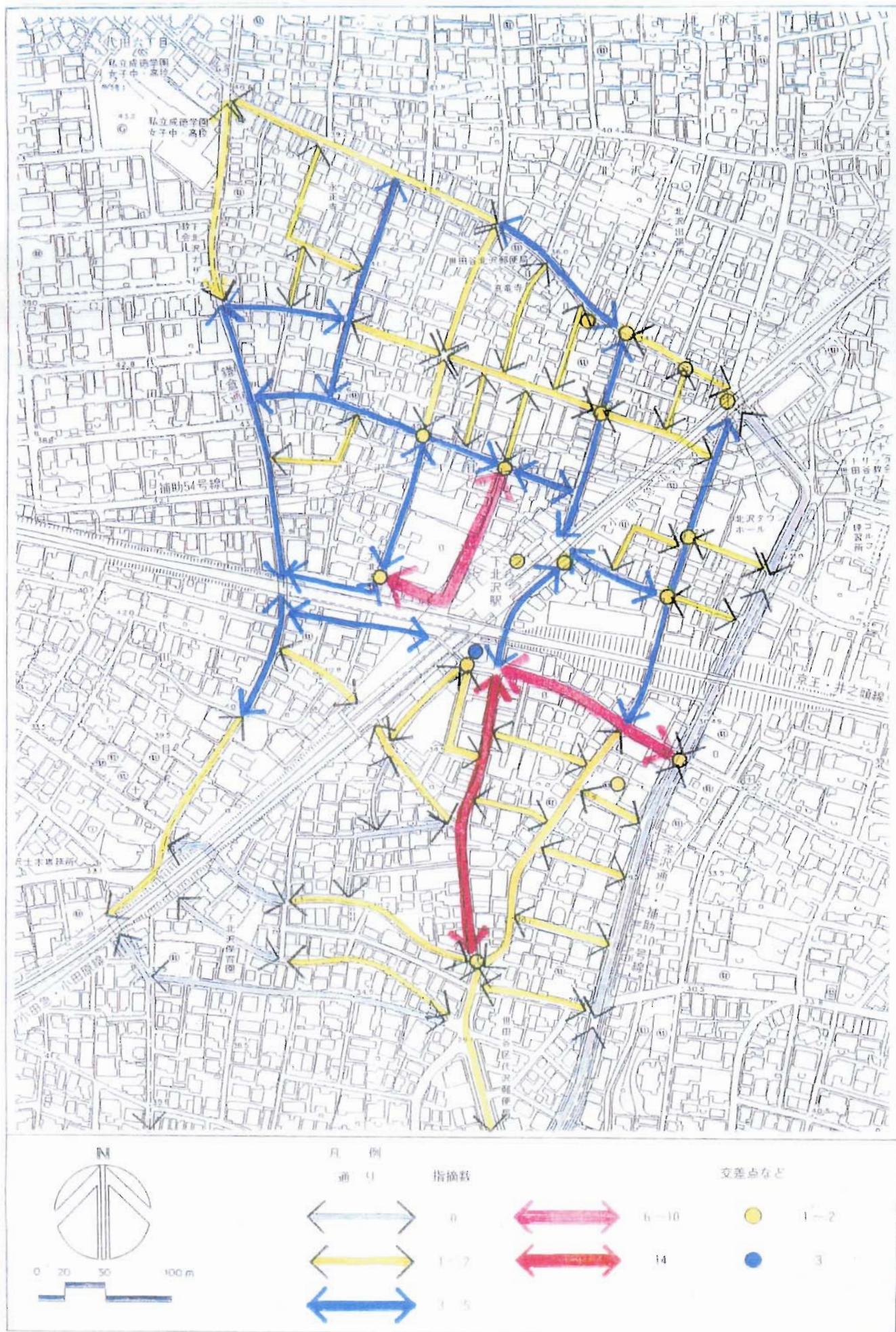
#### ○道路整備

- ・外周道路(茶沢通り、鎌倉通り)の拡幅整備と環7、井の頭通り、東北沢通りへの連絡強化
- ・小田急線立体化により通過交通流入が一層激しくなる恐れがある、一番街本通りの買物空間機能の充実(別ルートの整備等により、外周道路化するのを避ける)
- ・外周道路から駅周辺へのアクセス道路の整備(防災機能も果たす)
- ・北口住宅地内における商店街サービス車ルートの集約化と整備

#### ○歩行環境の整備

- ・鎌倉通りの歩道整備(通学路)
- ・親水遊歩道、緑道、イベント広場の整備、緑化
- ・南北商店街一体化、回遊路の整備(SP、アーケード、カラー舗装)

■ 歩行者を主体にして考えていきたい道すじ



## 下北沢街づくり懇談会運営要綱

	<b>下北沢街づくり懇談会運営要綱</b>								
第一（目的）	この会は、下北沢の街づくりをめぐる諸問題に対し、意見の交換をおこない、共通の認識と相互の理解を図るとともに、今後の下北沢の街づくりを検討することを目的とする。								
第二（名称）	この会は、「下北沢街づくり懇談会」と称する。								
第三（構成）	<p>この会は、次の町会及び商店会の会長と、これらの会長の推薦により選出された会員および北沢地区町会連合会会長をもって構成する。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">・北沢2丁目南町会</td> <td style="width: 50%;">・北沢2丁目協和会</td> </tr> <tr> <td>・下北沢一番街商店街振興組合</td> <td>・しもきた商店街振興組合</td> </tr> <tr> <td>・下北沢南口商店街振興組合</td> <td>・下北沢東会</td> </tr> <tr> <td>・下北沢西口クラブ連合会</td> <td>(順不同)</td> </tr> </table>	・北沢2丁目南町会	・北沢2丁目協和会	・下北沢一番街商店街振興組合	・しもきた商店街振興組合	・下北沢南口商店街振興組合	・下北沢東会	・下北沢西口クラブ連合会	(順不同)
・北沢2丁目南町会	・北沢2丁目協和会								
・下北沢一番街商店街振興組合	・しもきた商店街振興組合								
・下北沢南口商店街振興組合	・下北沢東会								
・下北沢西口クラブ連合会	(順不同)								
第四（世話人会）	<p>この会の運営を図るため、会に世話人会を置く。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 世話人会は、3名以内の世話人をもって構成する。</li> <li>3. 世話人は、会員の互選により定める。</li> </ol>								
第五（会議）	会議は、世話人会が招集し運営する。								
第六（庶務）	この会の庶務は世話人会がおこなう。								
付記	<p>本要綱は、昭和59年12月14日から適用する。</p> <p>平成2年2月26日 要綱一部改正</p> <p>平成10年4月24日 要綱一部改正</p>								